

## 消費税増税10%中止で幅広い世論と運動を！

2019年10月からの消費税10%増税の閣議決定から1か月、「8%でも営業や暮らしは大変なのに、10%になったら殺される」など怒りの声が全国各地から起こっています。三たび消費税10%を阻止するために、10%中止一点で幅広い世論と運動を進めていきましょう。

### 「消費税10%にしたら景気が悪くなる」

10月1日 岩手の会

岩手の会が参加する「荻原博子講演会」実行委員会は1日増税中止を求める署名・宣伝行動を行いました。高齢の女性は「孫の学費が高くて暮らしが大変」と。署名した男性は「税率を上げても、その分が福祉や医療に回るとは思えない」と憤りを隠しませんでした。別の男性も「増税したら景気が悪くなるのは目に見えている」と不信感をのせました。この日は15人の参加で32人の署名が寄せられました。

### 増税阻止へ「会」を網の目のように広げよう

10月21日 富山の会第25回総会

富山市で84人の参加で第25回総会を開催。消費税10%を2度延期させてきたことを確信に、消費税増税阻止・廃止の確かな力である「会」を網の目のように広げようと呼びかけました。参加した22歳の青年は「障害者雇用で働いているが、賃金が低くて生活は厳しい。消費税はほとんどもない税金だ。増税をやめてほしい」と発言。大門実紀史参議院議員が「安倍内閣を退陣に！ストップ消費税！」と題して講演。市民と野党の共同の発展で安倍政治を終わらせようと呼びかけ。社会保障を改悪しておいて「何が社会保障のための消費税か」という告発が大事だと指摘。社会保障の充実で将来不安を解消し、消費喚起・景気回復、税収増に切り替える道を示しました。



### 怒りながらシール投票

10月24日 福岡なくす会

なくす会と各界連は第143回目の消費税増税反対署名・宣伝行動を西鉄大橋駅前で行い、9人の参加で30人分の署名とビラを100枚配布し、シール投票も行いました。増税反対が41人、賛成5人、どちらでもない5人で圧倒的多くの市民が増税反対の意思表示を行いました。安倍首相の増税宣言の後だけに、給料や年金が上がらないのに、消費税だけ上がった生活ができないとシールを貼りながら怒りの声を上げていました。

### 1時間で220人が署名

10月24日

神奈川なくす会

神奈川の会と各界連は伊勢崎商店街で月例の街頭署名・宣伝行動に取り組みました。

27人が参加し、220人



から署名が寄せられました。

### 「増税宣言」に怒り噴出

10月16日 神奈川・旭区の会

安倍首相が臨時閣議で来年10月からの消費税10%増税を発した翌日、二俣川駅で怒りをもって署名・宣伝行動に取り組みました。17人の参加で47人から署名が寄せられ、ティッシュ600個とチラシ500枚も配布できました。「ポイント還元」とか「キャッシュレス決済」とか国民だましの愚策の打ち出しに怒りの声が聞かれました。